

プレコンセプションケアを 届ける具体的なアイデア ～産婦人科医の視点から～

丸の内の森レディースクリニック
宋美玄

性・生殖に関する正しい科学的知見の普及
学校・家庭以外での性に関する相談の場の提供
を行う場合、具体的に何を行えば良いのか。

- ・どのような層に対して、どのような場で、どのような内容の情報を提供すべきか。
- ・どのようなツールでケアを必要とする層にアプローチするのか。
- ・どのような相談支援を行うことが求められるのか。
- ・プレコンセプションケアを提供する機関をどのような名称にすれば良いか。

どのような層に届けるか？

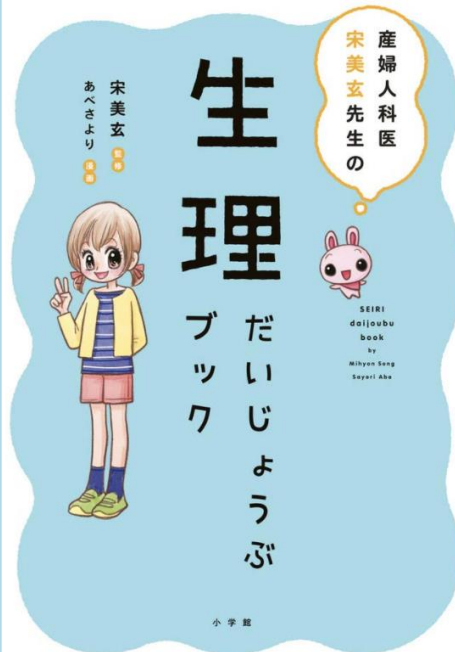
- 未就学児～思春期の子供（性別に関係なく）
- その子供たちの保護者層

それだけでなく・・・

- 子供たちや保護者が触れる媒体の作り手
- 様々なコンテンツを作る職業の方

どのような内容の情報を提供すべきか？

- 包括的かつ実用的な内容
- コンテンツはすでに色々ある



包括的セクシャリティ教育（CSE）

1. 科学的に正確であること
2. 幼少期から徐々に進展すること
3. 年齢・成長に即していること
4. カリキュラムベースであること
5. 包括的であること
6. 人権的アプローチに基づいていること
7. ジェンダー平等を基盤にしていること
8. 文化的関係と状況に適応させること
9. 変化をもたらすこと
10. 健康的な選択のためのライフスキルを発達させること

包括する内容

1. 人間関係
2. 価値観、人権、文化、セクシャリティ
3. ジェンダーの理解
4. 暴力と安全確保
5. 健康と幸福のためのスキル
6. 人間のからだと発達
7. セクシャリティと性的行動
8. 性と生殖に関する健康・権利

どのようなツールでアプローチするのか

- パンフレットなどの紙媒体、アプリなどでは興味のない子供には見られない
- しかし、**ワクチンの接種票と同封**するなどは保護者にも届けられる手段として検討してもいいと思います
- キャンペーン的なものではなく、定着が必要
- **学会、大学などのアカデミア団体**にもヘルスリテラシー向上の取り組みに協力してもらおう
- 学校を経由しない場合、**学習塾や予備校、各種検定試験などとのコラボ**は考えられるかも

どのような場で届けるか？

- 対面の場であれば、マンツーマンもしくは少人数グループでの情報提供・相談の場が望ましいと思います
- スウェーデンのユースクリニックでは少人数の講義、避妊法へのアクセスや妊娠・性感染症検査も受けられます
- 全国にいる思春期保健相談士を活用するのも近道
- HPVワクチンを男子も定期接種にして、接種をきっかけに産婦人科や泌尿器科にかかりつけていく

どのような相談支援が求められるのか

- 「生理の貧困」が話題ですが・・・
- 生理痛やPMSなど就学に支障のある不調
- パートナーとの関係、避妊、妊娠、性感染症
- 親子関係、虐待、経済的な問題
- ボディイメージ
- セクシャリティ
- 性暴力
- いじめ、生きづらさ、自傷、依存症

プレコンセプションケアを提供する機関を どのような名称にすれば良いか

- 子供にも分かりやすい名称が良いと思いますが、**性的なことが連想されない方がいい**と思います
- “プレコンセプションケア”は未浸透
- **若年、保健、健康、包括、情報、CSE、相談所、センター**など
- 外来語でも良ければ、**ユースクリニック、ユースセンター**など、シンプルに